

全学計算機の Visual Studio 2017 Professional でコンパイルを行う手順 (2017/10 月現在)

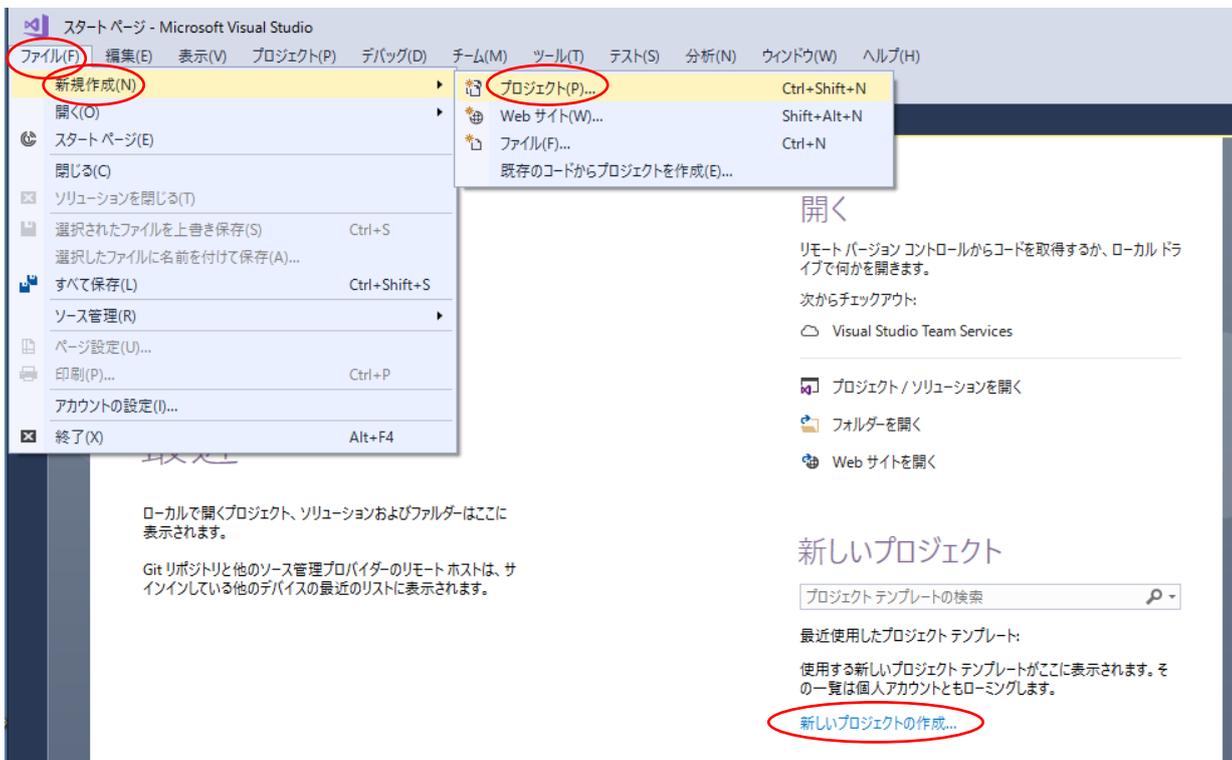
Visual Studio 2017 Professional (以下、Visual Studio と表記) を最初に起動すると、次の画面が出てくる。



面倒臭ければ「後で行う。」を選択して先に進む。ただしその場合、次回起動時にも同じ画面が出てくる。アカウントがすでにあれば「サインイン」を、まだなければ「サインアップ」をクリックして指示に従う。以下の説明では、「サインイン」したか「後で行う。」を選択したものとする。開発環境の設定の画面が現れたら、Visual C++ あるいは C/C++ などと書かれたものを選ぶ。

先に進むと、次のような画面が現れるので、

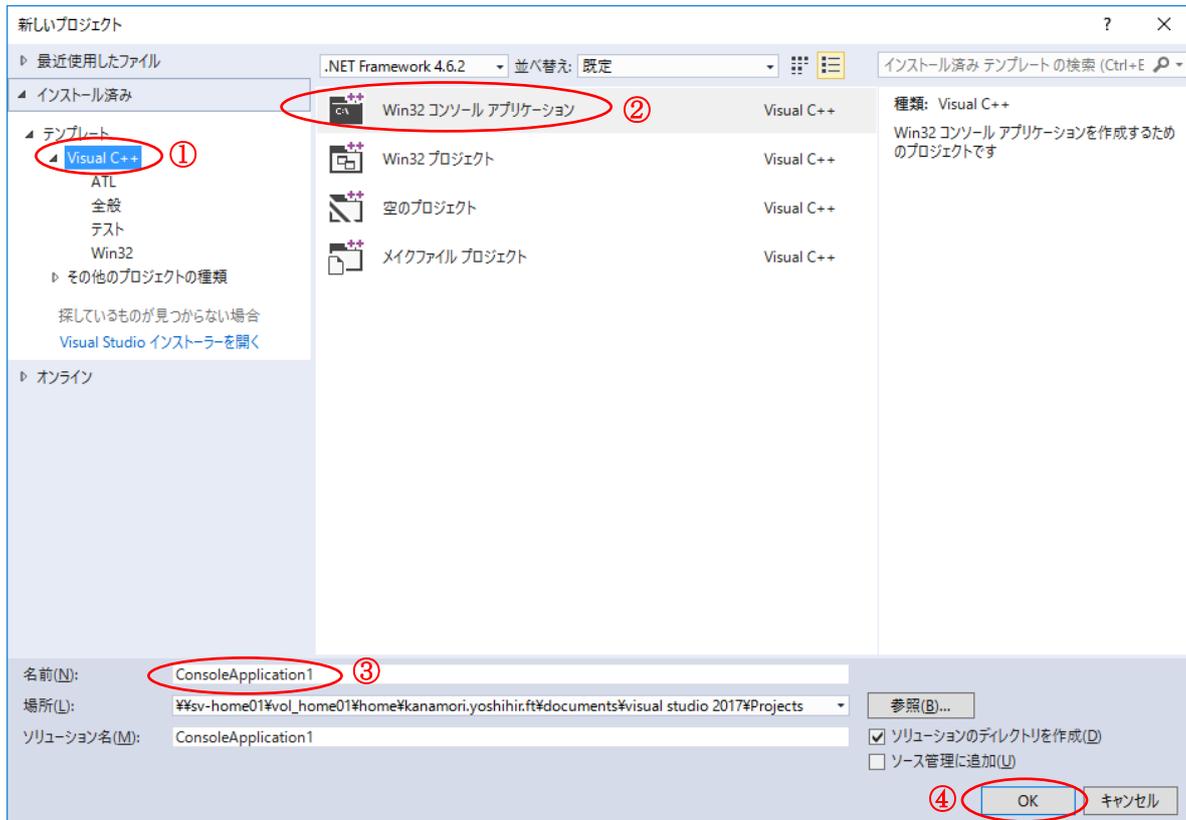
[ファイル]→[新規作成]→[プロジェクト] もしくは、画面右下の[新しいプロジェクトの作成...]を選択する。



すると次のような画面が現れる (次頁) ので、

1. 左の [テンプレート] の中の [Visual C++] を選択する (最初から選択済みのはず)。

2. 中央の [Win32 コンソールアプリケーション] を選択する。
3. [名前(N)] 欄に独自のプロジェクト (関連ファイル群をひとまとめにしたもの) の名前を入力する。
※日本語は使わず半角英数字のみで入力するのが無難
4. 右下の [OK] をクリックする。

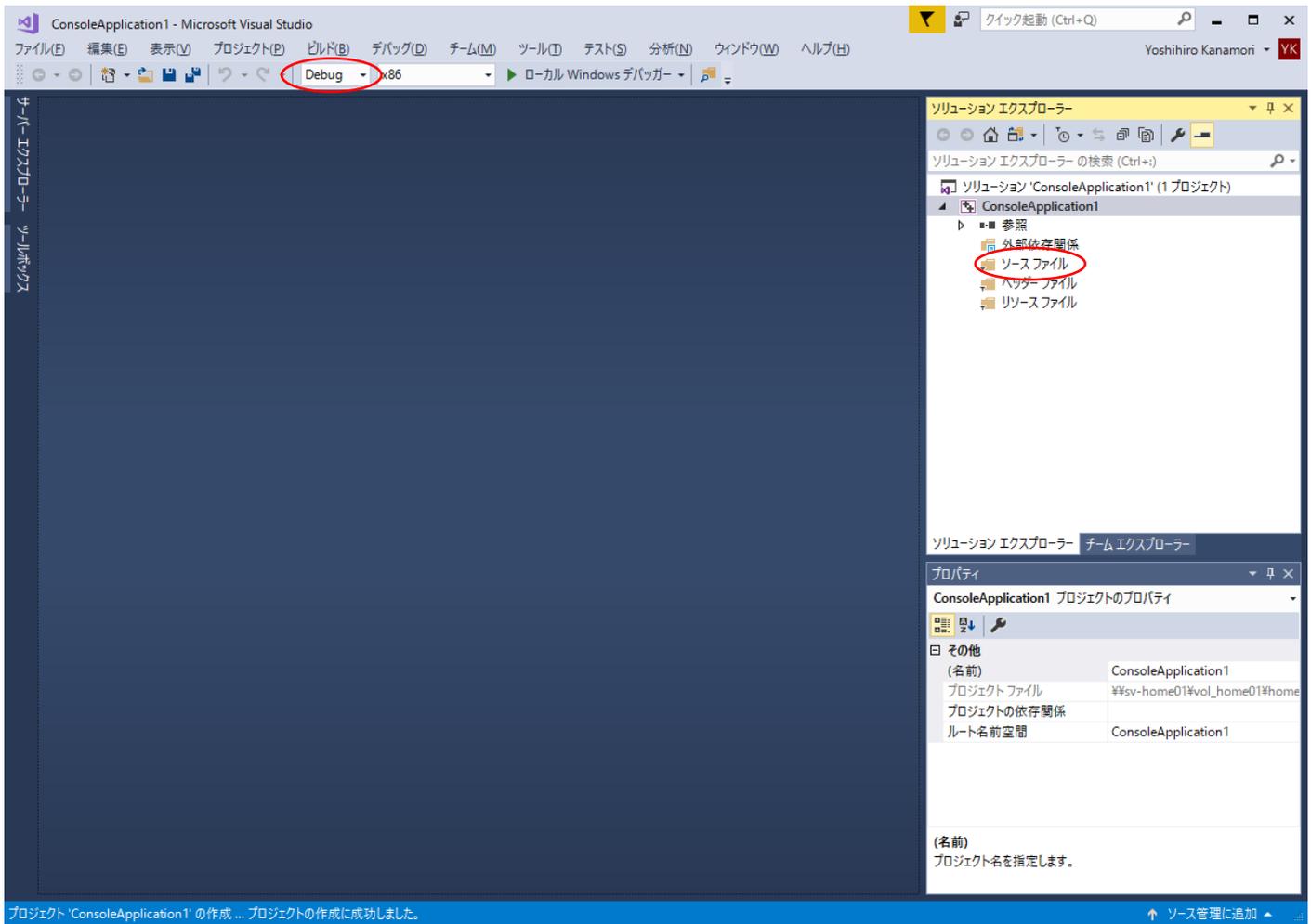


次に現れる画面で [次へ>] をクリックして、その次に現れる画面で

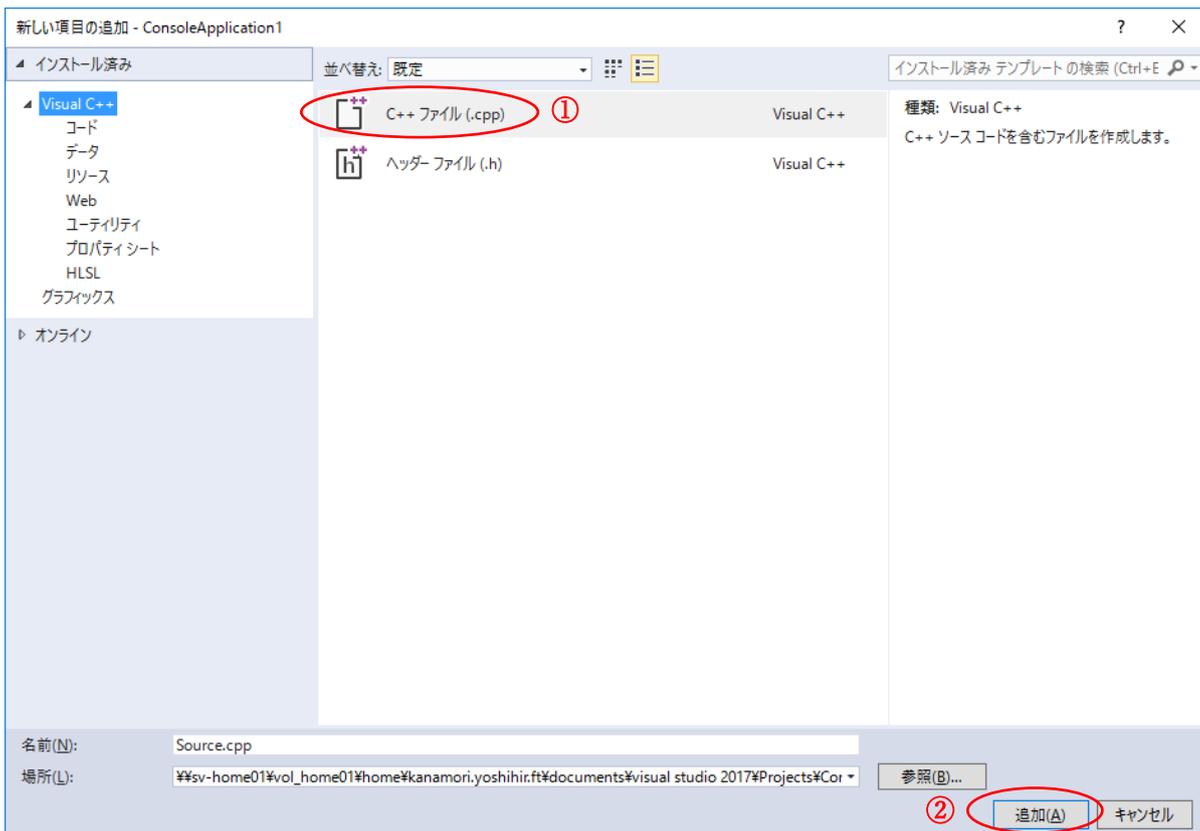
1. [コンソールアプリケーション] を選択する。
2. [空のプロジェクト] にチェックを入れる。
3. [完了] をクリックする。



すると次のような画面が現れる。

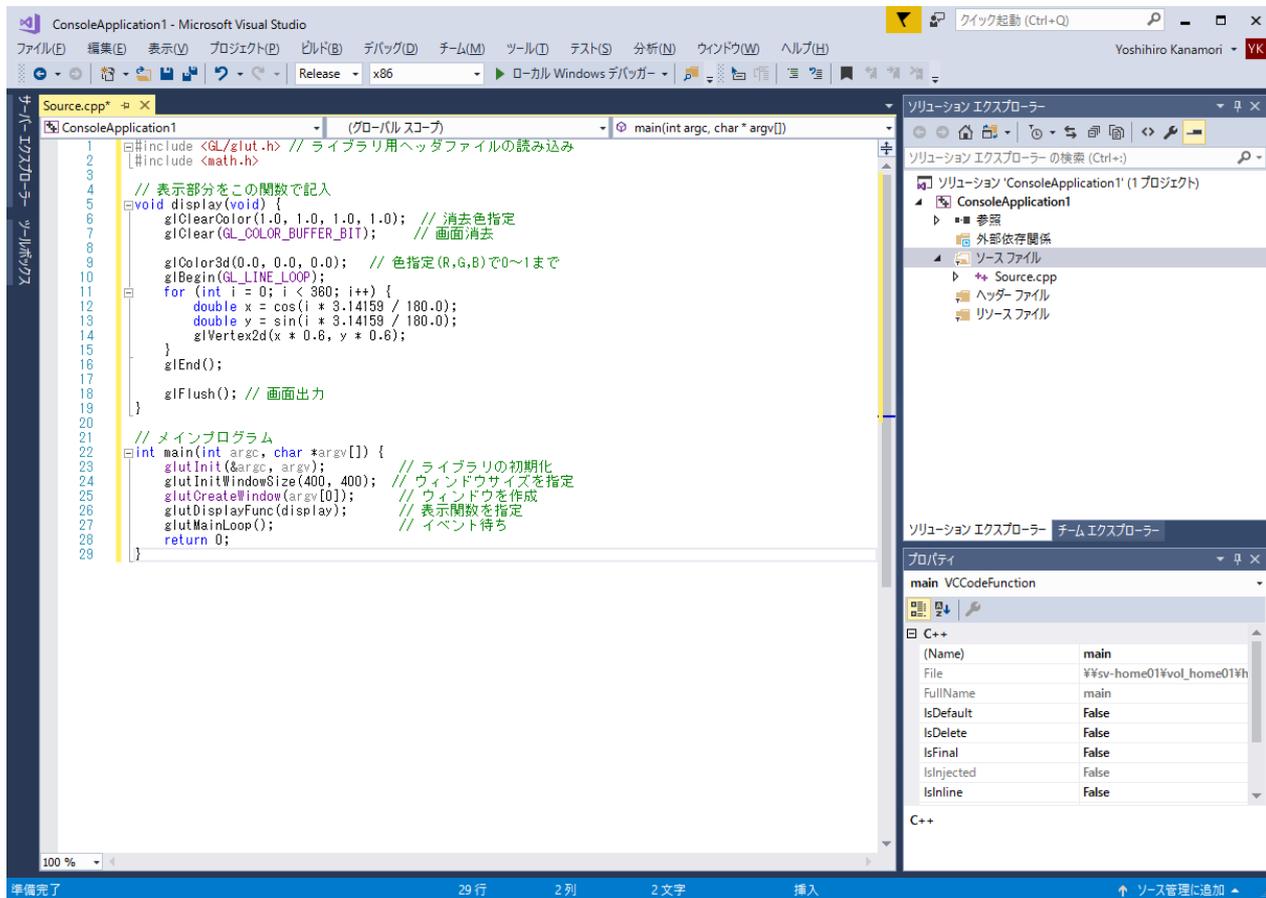


ここで、上部の [Debug] と書かれた部分をクリックして [Release] に変更し、右側の [ソースファイル] をマウスの右ボタンでクリックする。そこで現れるメニューの [追加]→[新しい項目] を選ぶ。すると次の画面が現れる。

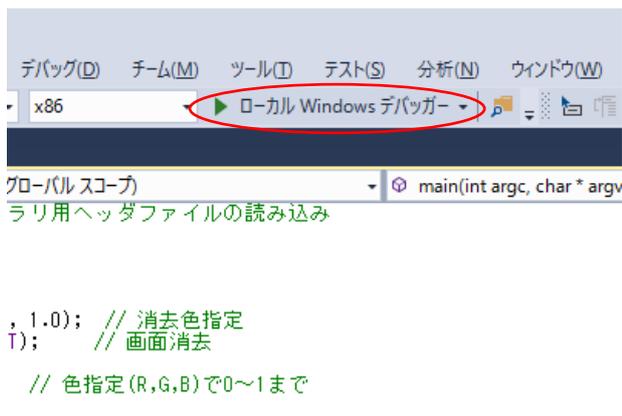


1. [C++ ファイル(.cpp)] をクリックして選択する。
2. 右下の [追加] をクリックする。

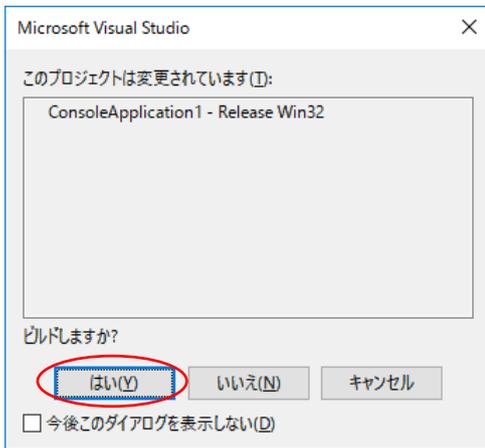
次に、左側に入力可能な空白の空間が表示されるので、プログラムのソースコードをコピー＆ペーストするかキーボードから入力する。



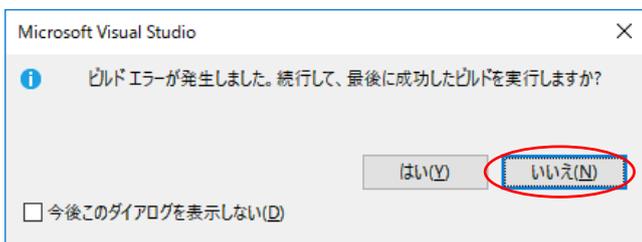
いよいよソースコードをコンパイルする。上部のメニューにある [ビルド]→[ソリューションのビルド] を選択するか、[ローカル Windows デバッガ] をクリックする。



すると次のような画面 (次頁) が出てくるので、[はい] をクリックすると、コンパイルが行われ、コンパイルが成功すればプログラムが実行される。



コンパイルエラーがあった場合は、次のようなダイアログボックスが出てくるので、[いいえ] を選択し、画面下の [出力] のところに表示されたエラーメッセージを参考にして、ソースコードを修正する。修正が終わったら、また [ビルド]→[ソリューションのビルド]をクリックしてコンパイルを試みる。



なお、全学計算機では、ソースコードを更新すると次のようなメッセージが出ることもある。
[保存されていない変更がない限り、変更されたファイルを再読み込みする] にチェックを入れて、[はい] や [すべてに適用] を選んでおけばよい。

